



地域ひと・モノ・未来
情報研究センター

第6回 成果発表シンポジウム

地域ひと・モノ・未来情報研究センターは、多様な情報を情報通信技術（ICT）で解析・連携・共有化し、その成果を「滋賀モデル」として提案・発信すること、また、ICT応用を地域社会で実践できる人材の育成などを目的としています。

滋賀県の歴史・文化・伝統を基盤とした地域の環境・健康福祉・産業振興などのターゲットに対応し、農業・看護・観光・工業等に関する研究を進めると共に、数理モデル・情報解析能力を備える学生の育成および地域ならびに地域産業の課題解決へ向けた社会人の養成・学び直し等を進めています。

この度、令和4年度の成果発表として、下記のとおりシンポジウムを開催します。

開催日時

2023年3月10日（金）9:45～12:00

新型コロナウイルス感染者状況を踏まえ、オンライン視聴（ライブ/オンデマンド）といたします。

□ライブ視聴（3/10（金）9:45～）、裏面のお申込み方法欄をご参照ください

□オンデマンド視聴（3/24～4/21（（予定））、後日ご案内させていただきます

プログラム

（敬称略）

参加費
（視聴）
無料

9:45 開会の辞とセンターの現状報告

地域ひと・モノ・未来情報研究センター長、
工学部電子システム工学科 教授

酒井 道

10:05 【特別講演】自治体DXの現状とデータの利活用

Gcomホールディングス 執行役員、
地方行政経営研究所所長

小出 篤

10:50 休憩

11:00 【講演1】データから見える自然とウェルビーイング(幸福)の意外な関係

地域ひと・モノ・未来情報研究センター、
環境科学部環境政策・計画学科 教授

高橋 卓也

11:20 【講演2】機械・構造物損傷の常時監視のための自励駆動型超音波振動を用いたモニタリング技術

地域ひと・モノ・未来情報研究センター、
工学部機械システム工学科 講師

田中 昂

11:40 【講演3】電解還元法による銀ナノ構造体の作製とラマン散乱増強特性の評価～Python によるデータ整理の省力化～

地域ひと・モノ・未来情報研究センター、ICT実践学座e-PICT受講生
工学研究科 材料科学専攻

大槻 東也

11:55 閉会の辞

理事、副学長

安原 治

※ホームページにも、詳細を掲載しております。

<https://www.ict.usp.ac.jp/posts/news70.html>

主催：公立大学法人滋賀県立大学

お申込み方法

・Zoomウェビナー登録画面

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_mmr2e9F9TyWC2UaMCOI1cQ

にて、氏名、所属、メールアドレス、電話番号等をご入力の上、事前にご登録ください。

➡お申込み（登録をクリック）いただいた後、確認メールが自動で届きます。

届かない場合は、ご連絡ください。



▲お申込み用QR

お問い合わせ先

滋賀県立大学

地域ひと・モノ・未来情報研究センター

〒522-8533

滋賀県彦根市八坂町2500

産学連携センター（C8棟）2階C8-204

☎0749-28-8421（事務局）

E-mail : ict@e.usp.ac.jp

URL : <https://www.ict.usp.ac.jp>

▼センターHPのQRコード



滋賀データ活用LAB研究発表会

同日午後（3月10日（金）13:00～）には、滋賀県地域情報化推進会議主催で、「令和4年度滋賀データ活用LAB研究発表会」がオンライン配信にて開催される予定です。本センターからも、酒井 道教授、高橋 卓也教授、宮城 茂幸准教授が成果を発表いたします。お時間の都合がつけば、ぜひご参加ください。（事前の申込みが必要）

↓詳細のURL

<https://shiga-lg.jp/archives/1737>



▲滋賀データ活用LAB
発表会用申込QR

